

別紙1 (概要文)

沖縄西海岸道路（那覇西道路、豊見城・糸満道路）開通後の交通状況について

南部国道事務所

◎調査第二課長

調査第一課長

○調査第二課調査係長

なは いづる
那覇 出
まえさと かずや
眞栄里 やすじ
うちま 安治
内間

1. 目的

沖縄西海岸道路は、産業や人口の集積する沖縄本島中南部西海岸地域の交通渋滞の緩和、物流の効率化、観光などの産業振興を目的とした読谷村から糸満市に至る約50kmの地域高規格道路である。

那覇西道路および豊見城・糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道58号、331号等那覇市街及びその周辺の混雑緩和と、那覇港・那覇空港へのアクセス向上などに寄与する道路である。

その那覇西道路が平成23年8月に供用、糸満・豊見城道路は平成24年3月に供用され、本稿は、両道路における開通後の交通状況について報告するものである。

2. 内容

○那覇西道路

開通1ヶ月後、半年後調査の結果、以下の効果等が確認された。

- (1) 那覇市街の国道58号などからの交通が更に分散
- (2) 明治橋交差点では浦添向けや真玉橋向けの渋滞がほぼ解消
- (3) 新たな通勤ルートとして定着
- (4) 物流拠点が結ばれ物流の効率化に効果
- (5) 時間短縮効果が見られるものの依然として混雑区間も確認

○豊見城・糸満道路

供用直後調査の結果、以下の効果を確認した。

- (1) 交通量の分散（現国道331号の交通量が減少。豊見城・糸満道路へ転換。）
- (2) 糸満ロータリー交差点の交通混雑が緩和
- (3) 南部地域への移動時間が短縮

3. 結論

那覇西道路については、供用1ヶ月後の時点より国道58号等の交通量が更に分散し、渋滞緩和効果が継続して現れており、所要時間短縮により通勤などの日常活動や物流活動に効果が出ている。

豊見城・糸満道路については、全線開通により「ひめゆりの塔」「平和祈念公園」「おきなわワールド文化王国・琉球の村」といった観光施設へのアクセスが向上し観光振興が期待される。

4. 今後の問題点

那覇西道路周辺の那覇都市圏を中心とした交通渋滞は、依然として改善の必要があり、引き続き、那覇空港自動車道や沖縄西海岸道路などの整備を推進する必要がある。

那覇西道路、豊見城・糸満道路においては、それぞれ供用1年後、1ヶ月後調査を引き続き実施し交通状況の把握を行う。